（　　）　年　月　日　□□□□□□□□□□　第　号

トンボーニーックス

文化祭特集

七月五日に下野竜也さんと、清水和音さんにインタビューをしました。

Q　下野さんと清水さんの好きな曲は？

A　下野さん

好きな曲は、今日しきをする曲が一番好きと思ってしきをしているそうです。

でも、一番好きな曲はベートーベンの交響曲第九番だそうです。

この曲をしきしたくてしきしゃになったそうです。

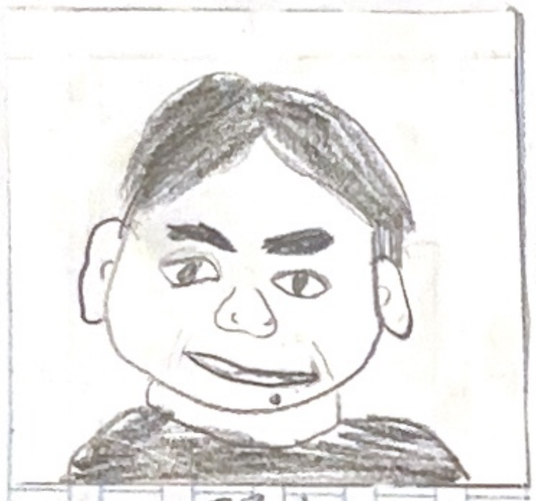
A　清水さん

下野さんと同じで、今日ひく曲が一番好きと思ってひくそうです。好きな作曲家はベートーベンでこい人は、シューベルトとおっしゃっていました。

Q　下野さんはどのくらい練習するの？

A　下野さん

練習はしないそうで、一～三日オーケストラとあわせるそうです。



下野さん

Q　しきで強弱のしじを出すときはどうするの？

A　下野さん

楽ふにかいてあるから、オーケストラは強弱をつけてくれるけど、も、と小さくしてほしいときは、二つやりかたがあるそうです。

一つ目は、しきぼうをもっている手を小さくうごかすことです。二つ目はもっていない手で、ちょっと小さくというジェスチャーをします。

大きくするときは、そのぎゃくだそうです。

Q　清水さんは今日チェレスタをひいていたけれど、ピアノとチェレスタのちがいはなに？

A　清水さん

ぜんぜんちがうし、たわけでもないそうです。小学生のころからすごくピアノが上手だったそうです。

清水さん

Q　清水さんはどうしてピアニストになったの？

A　清水さん

べつにピアニストになりたくてなったわけでもないそうです。小学生のころからすごくピアノが上手だったそうです。

Q　しきのむずかしいところは？

A　下野さん

オーケストラの人たちの気もちを一つにすることが一番むずかしいそうです。ときには、みんながやりたくないこともやらないといけないそうです。

かんそう

清水さんは、ひいているとき、まじめそうなかおにみえたけど、すごくおもしろかったです。下野さんは元々面白いんしょうだったけどお話の時も面白くて楽しかったです。